

自主防瓦版

令和六年度延岡市自主防災組織連絡協議会総会

令和六年七月二十三日(火)野口遵記念館において令和六年度延岡市自主防災組織連絡協議会総会(森口正輝会長)及び防災研修会を行いました。

総会当日現在、281組織が結成されており125組織が出席(委任状99組織)し、規約に則り本総会が成立しました。

開催にあたり森口会長から「今年度に入り2地区が自主防災組織を結成して頂きました。今後も結成促進に取り組んでまいります」と挨拶がありました。

次に、表彰式及び議題審議に移り、全ての議案が可決されました。

最後に、社会福祉協議会地域福祉課山田昇吾主事による「災害時のボランティアについて」の講話を受講し、終了しました。

感謝状贈呈組織

長浜町区自主防災組織

(甲斐善一会長)

北緑ヶ丘区(くろしお隊)

自主防災組織

(花畑周二郎会長)

下伊形自主防災クラブ

(重黒木實行会長)

上平原区自主防災組織

(山本盛男会長)



【森口会長あいさつ】



【感謝状贈呈】

2024年
8月16日
(第142号)

延岡市
自主防災組織
連絡協議会
事務局
☎22-7105

結成しました

自主防災組織率
組織数
281組織
組織率

85.10%
令和6年7月8日
現在

防災訓練は災害
時に役立ちます

Topics

延岡市ホームページに「自主防災組織を考える」を掲載しています。
「延岡市 自主防瓦版」で検索してみてください。

下伊形町区防災訓練

下伊形町区自主防災組織(重黒木實行会長)は、令和六年六月二十三日(日)同区内にて津波避難訓練を行いました。

午前10時、地震が発生したとの想定で地区住民は2箇所の津波避難場所へ避難しました。

「避難場所まで遠い。久しぶりに神社山に登った」など話す住民もいました。避難住民の受付終了後、地震・津波及び備えについて説明を受けました。



【自転車で避難】



【猫も避難しました】

西階町うぐいす団地区防災訓練

西階町うぐいす団地区自主防災組織(村上友久会長)は、令和六年六月三十日(日)うぐいす公民館にて防災訓練を行いました。

はじめに、国土交通省延岡河川国道事務所による講話を受けました。日本各地での洪水被害や平成17年と令和4年の台風における浸水箇所の違いを知ることができました。次にリバーパル五ヶ瀬川の山田館長によるペットボトルを使用した液状化



【早めの避難しよう！】



【液状化実験】

出口区防災講話

出口区自主防災組織(末藤俊二会長)は、令和六年六月二十二日(土)出口公民館にて防災講話を行いました。

防災推進員から令和4年台風14号を中心に風水害による講話を受けました。また、平成5年鹿児島86水害の映像を見て、改めて早めの避難や備えの大切さを感じることができました。



【明るいうちに避難！】

大門北区防災講話

大門北区自主防災組織(斉藤正会長)は、令和六年六月二十八日(金)大門北区公民館にて防災講話を行いました。

能登半島地震の映像を見て「揺れている時に避難するのは難しい」「家具の固定が必要」と話す住民もいました。また、共助の成功例や避難所運営の写真を見て「防災訓練は大切」「顔の見える関係を築いていくことが大切」と話す住民もいました。最後に、斉藤会長から「秋には防災訓練を実施します」と報告がありました。



【揺れの大きさにビックリ！】

みどり区防災訓練

みどり区自主防災組織（森口正輝会長）は、令和六年七月二十一日（日）にみどり区内で、地震避難訓練を行いました。

8時30分に公民館からの放送を聞いた皆さんは、続々と公園に避難して来られました。

訓練参加者による対策本部及び防災資機材簡易テント設営訓練に続き、点呼並びに健康状態の確認を行いました。

元日に発生した「能登半島地震」を教訓に役員会では、各家庭で飲料水・食料品等の備蓄や家具の転倒防止などの備えが重要であると話し合われたことが紹介されました。また、災害ゴミの分別要領や持ち込む際の注意点を参加者全員で認識した後、対策本部及び防災資機材簡易テントを撤収して避難訓練を終了しました。



【暑さ対策はOKです】



【防災倉庫内の備品説明中】

防災訓練・講話等予定

防災講話

○須佐区防災講話
9月 8日（日）
午前10時～
須佐集会場

○古川区防災講話
9月 8日（日）
午前10時～
古川公民館

○妙町区防災講話
9月29日（日）
午前10時～
妙営農集会場

防災訓練

○島野浦町津波避難訓練
9月20日（金）
午前 8時30分～
島野浦島全域

○小川町防災訓練
9月22日（日）
午前10時～
小川研修センター

○防災フェア
9月 1日（日）
午前10時～
イオン延岡店（旧ユニクロ）

出前講座

自主防災組織の育成と拡大のための出前講座

- ・内容：自主防災組織の必要性と役割分担及び地域に合わせた防災教育や訓練等の指導（講話・ビデオ・各種訓練・防災グッズ作成等）
- ・会場：各地域（公民館など）
防災研修センター
- ・申し込み先：消防本部
警防課 警防係
TEL22-7105
FAX31-0303

宮崎県防災士出前講座

- ・内容：宮崎県内のご希望の会場に防災士を派遣し、体験学習や講演を中心に防災・減災についての講座を実施
- ・申し込み先：宮崎県防災士ネットワーク
TEL0985-55-0477
FAX0985-55-0467

北小路1区防災講話

北小路1区自主防災組織（甲斐広孝会長）は、令和六年七月七日（日）に岡富小学校PTA会館で防災講話を行いました。

防災推進員から、家庭内における地震対策や地球温暖化によって日本周辺海域の40年前と現在の海水温上昇の差などについて説明がありました。

最後に「普段からコミュニケーションを確立して災害発生時は、お互いで助け合う北小路1区目指しましょう」と挨拶がありました。

富美山西区防災講話

富美山西区自主防災組織（佐伯卓信会長）は、令和六年六月二十三日（日）に富美山コミセンで婦人部を対象に防災講話を行いました。

防災推進員から、富美山西区周辺の災害別リスクについてハザードマップや地図で説明を受け備えの考え方を理解しました。



【婦人部長あいさつ】



【受付中です・・・】

大門区防災講話

大門区自主防災組織（田中純一郎会長）は、令和六年七月二十一日（日）に大門公民館で防災講話を行いました。

田中会長から「南海トラフ地震に限らず、いつ来るかわからない災害に備えましょう」との挨拶後、祝子川沿いに位置する大門区の地理的特性から、洪水時と津波時の浸水深があまり変わらない事をハザードマップで理解するとともに川の水が堤防を越えたイメージビデオを視聴し、その際、水の流れと広がり、速さからの早めの避難が大切だと理解しました。



【真剣に聞いてます】

西階中学校家庭学級防災講話

西階中学校家庭学級は、令和六年七月二十六日（金）に防災講話を行いました。

発災時における携帯電話の使い方やATM使用不能及び電子マネー・カード決済での買い物等が一定期間出来なくなる可能性がある為、非常用持出品リストに現金の準備は必要などの説明を受け防災講話を終了しました。